

●1970-80's の基本的なスタイル

a) HR/HM(60年代-90年代): ロックの音楽的特性を強調、技巧性を高める

1)ハードロック(60-70年代)

- ・レッド・ツェッペリン
- ・ディープ・パープル など

2)ヘヴィ・メタル(80年代-)

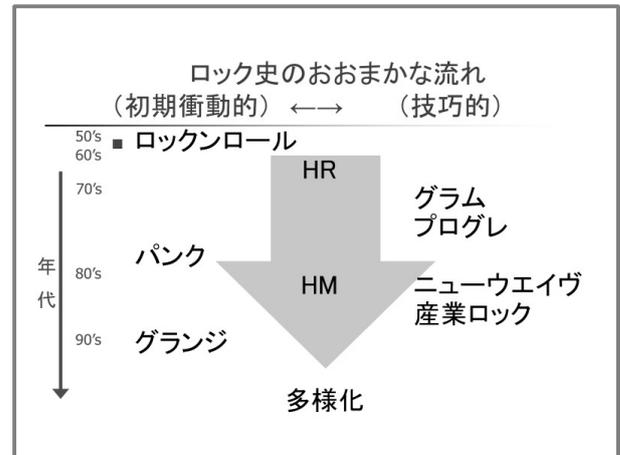
- ・メタリカ
- ・アイアン・メイデン
- ・ボンジョヴィ
- ・セックス・マシンガンズ など

3)「特性＝特異性」の強調が

異装 につながる場合がある

(俺たちは特別な存在だ、という意識は
実は19世紀のクラシックに由来する)

- ・キッス
- ・アリス・クーパー
- ・聖飢魔II など



b) プログレッシヴ・ロック(60年代末-): 芸術性を向上、クラシックや現代音楽に接近

- ・ピンクフロイド
- ・エマーソン・レイク&パーマー
- ・イエス
- ・キング・クリムゾン など

c) グラム(glamorous)ロック(70年代初め): 反体制の一つの表明としてのユニセックス

- ・デヴィッド・ボウイ
- ・T-レックスなど

d) パンク・ロック(70年代半ば-): 音楽性を軽視、メッセージ性を激しく強調→

- ・セックス・ピストルズ
- ・クラッシュ
- ・ブルーハーツ など

e) ニューウェイヴ、(80年代): (パンクへの反動から)人工美やポップさを強調

(ビデオやテクノとも関連、第2次イングリッシュ・インヴェージョン)

- ・カルチャークラブ
- ・デュラン・デュラン
- ・ユーリズミックス

* ミュージック・ビデオの時代(80年代-)

MTVの登場、マイケル・ジャクソンの活躍がロックにも影響

f) 産業ロック(80年代): 「売れるもの」としてロックが体制に取り込まれる

- ・ジャーニー
- ・REOスピードワゴン など

cf: ブルース・スプリングスティーン《ボーン・イン・ザ・USA》は誤解によって体制に利用されかけた